

平成 24 年度 横浜市立図書館年報

目 次

1	沿革	P. 2	
2	機構・人員	P. 5	
3	図書館一覧	P. 6	
4	平成 24 年度図書館資料統計	P. 8	
(1)	蔵書数	P. 8	
ア	図書資料	イ 新聞・雑誌	ウ 参考資料
エ	CD-ROM	オ マイクロフィルム・マイクロフィッシュ	
カ	個人貸出用図書[分野別所蔵数]		
(2)	年間受入冊数	P. 12	
ア	図書資料[個人貸出・閲覧用]	イ 図書資料[団体貸出用]	
(3)	年間除籍冊数	P. 13	
ア	図書資料[個人貸出・閲覧用]	イ 図書資料[団体貸出用]	
(4)	再活用図書	P. 13	
5	平成 24 年度利用統計	P. 14	
(1)	個人貸出	P. 14	
ア	登録者数	イ 貸出冊数	
ウ	一日平均利用状況		
(2)	予約受付冊数	P. 16	
ア	予約受付冊数[館別]	イ 予約受付方法別	
(3)	レファレンス件数	P. 17	
(4)	市外図書館との相互貸借冊数	P. 17	
(5)	障害者支援事業	P. 18	
ア	登録者数	イ 貸出数	ウ 録音資料蔵書数
エ	点字資料等蔵書数	オ 対面朗読	カ 音訳者登録者数
(6)	音楽映像ライブラリー	P. 19	
ア	資料点数	イ 年間受入数	ウ 年間除籍数
エ	利用点数	オ ブース利用回数	
(7)	移動図書館	P. 20	
	移動図書館車の駐車場と利用状況		
(8)	団体貸出	P. 21	
ア	登録図書館別団体数	イ 利用状況	
(9)	グループ貸出	P. 21	
	グループ貸出の登録館と利用状況		
(10)	企画事業、その他の事業	P. 22	
ア	全館事業	イ 中央図書館の主な事業	ウ 地域図書館の主な事業
エ	おはなし会等事業	オ 検索機使い方相談・講座	カ 講師派遣
6	平成 24 年度図書館カレンダー	P. 29	
7	平成 24 年度 横浜市立図書館の目標と振り返り	P. 30	

8	平成 24 年度 事業のまとめ	P. 34
(1)	司書の専門性を発揮したサービスを進展させました	P. 34
ア	蔵書再構成5か年計画の実施	
イ	子どもの読書活動の支援	
ウ	市民の学習活動・課題解決の支援	
エ	地域情報の収集・提供の推進	
オ	地域と連携した読書推進活動の充実	
カ	多文化サービスの展開	
キ	市民協働の推進	
(2)	効率的で効果的な図書館の管理運営を推進します	P. 41
ア	地域図書館の管理運営手法の総合的検討	
イ	自主財源の確保及び経費の節減（広告事業）	
ウ	身近で便利な図書館サービスの充実について	
エ	利用者アンケートの実施	
オ	交通拠点での図書館サービス機能強化事業	
(3)	市民にとって利用しやすい快適な図書館づくりを進めます	P. 43
ア	利用者の要望の把握（広聴事業）	
イ	広報活動	
ウ	企画事業の実施	
(4)	その他のトピックス ～図書館情報システムの更新～	P. 45
(5)	関連記事	P. 46
9	平成 25 年度 横浜市立図書館の予算と目標	P. 48
(1)	予算	P. 48
(2)	平成 25 年度 横浜市立図書館の目標	P. 49
10	これからの図書館を視野においた取組	P. 51
(1)	横浜市立図書館アクションプラン中間振り返り	P. 51
(2)	人材育成計画に基づいた研修の実施	P. 51
11	平成 25 年度図書館カレンダー	P. 52
12	横浜市立図書館条例・規則	P. 53
13	他都市との比較	P. 64

表紙図版【絵葉書(大横濱名所) 震災記念會館 Memorial Earthquake, Yokohama.】

今から 90 年前の 1923(大正 12)年9月1日、関東地方南部に大地震が発生し、首都東京をはじめ、横浜も壊滅的な被害を受けました。関東大震災です。この地震の体験と教訓を後世に伝えるため、震災記念館ができました。

当時、市の教育課長だった中川直亮の発案によるもので、様々な記念品が集められました。記念館は最初、震災により校舎を焼失した横浜小学校(中区北仲通6。現在の UR 都市機構海岸通団地の周辺)の運動場に震災一周年の 1924(大正 13)年9月1日に開館しました。しかし翌年には、本町小学校予定地の花咲町瓦斯局跡に移転し、更に 1928(昭和3)年には中央図書館の前身である横浜市図書館の隣接地(現在の図書館横の駐車場周辺)に独立した建物として建設されました。記念館には、震災関係の資料だけではなく、震災前の横浜の発展に関する資料も展示されていました。

記念館は 1942(昭和 17)年には市民博物館に改装され、1944(昭和 19)年には空襲の激化のため事実上の閉館となりました。その後は様々な機関が入居し、1964(昭和 39)年には結婚式場の老松会館に生まれ変わりました。そして老松会館は中央図書館の建設に伴って、1990(平成2)年に取り壊されることになりました。震災記念館にあった資料の一部は中央図書館に引き継がれています。